

(別紙2 - 3)

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームありあけ

平成 24年 2月 28日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 (8)	入所した頃は訪問者もあるが、長くなると次第に途切れてくる。	知人、友人等に訪問して頂くよう働きかける。	これまで本人を支えてくれたり逆に本人が支えてきた方について把握し、会いに行ったり、手紙は無理でも電話で声を聞いてもらったり、交流をもってもらおう。	年間目標
2	29	裏の畑に野菜を作っているが、そこまで行ける利用者が限られてきた。	収穫時は皆で参加する。	畑の中には入れずとも目で見て手に取り一緒に収穫を楽しむ。	その都度収穫
3	35 (13)	地域消防団との連携の強化	運営推進会議に参加の依頼をお願いし、ホームの様子を知ってもらう。	消防団詰所が事業所と隣接しており、団員の方が月2回集まっておられる為、それを利用して訪問してもらう。	年2回
4	36 (14)	職員が利用者に向けて発している言葉の内容や語調等が不適切なのかを考える	本人を傷つけてしまわないように目立たず、さりげない言葉かけ、対応に配慮する。	職員同志で注意しあい、本人の気持ちを大切に言葉かけの徹底を行う	年間目標
5	49 (18)	外出も歳と共に減っていく為、「外出は困難」と決め付けずに戸外に出る。	屋内に閉じこもったままの状態ではストレスを蓄積しやすくなる為、ストレスの発散、五感の刺激を目標とする。	小学校、海、公園等短時間で行け、本人の負担にならない場所を選ぶ。	年間目標

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。